

【ロシアルーブル建て】欧州フィンテック事業者支援ファンド（14～18号、21～44号）【米ドル建て】欧州フィンテック事業者支援ファンド（5～8号、12～34号）【円建て】欧州フィンテック事業者支援ファンド（1～36号）の運用状況につきまして

(2024年3月期)

投資家のみなさまにおかれましては、平素より格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。掲題のファンドシリーズ各号（以下、「本ファンドシリーズ」といいます。）につきまして、運用状況をご報告申し上げます。

【本レポートの要旨】**<ロシア国内の特別口座への入金について>**

ロシア・ウクライナ間の戦争が長期化し、SWIFT からの解除をはじめとする各国のロシアに対する制裁措置や、ロシア政府およびロシア中央銀行による送金規制などの対抗策の影響が続いており、ロシアからの海外送金は依然、広範に規制されています。このような中、貸付先の Kviku 社グループ（後述）は、ロシア中央銀行とデフォルト発生を回避する手段を協議し、ロシア中央銀行からの助言に従ってエストニアグループ会社（後述）を引受人とする私募債を発行し、同債券の償還時に償還金を Kviku 社グループがロシア国内に開設した特別口座¹へ入金する方法で返済する旨を通知してきました。Kviku 社グループからは、この通知の通り、2024年2月に特別口座に882百万132千ロシアルーブルを入金したとの連絡を受けており、現在エストニアグループ会社はこの入金の事実関係を確認中です。

この入金額は Kviku 社グループが一方的に算出した数値であり、ロシアルーブル/円=1.60円で換算した場合に約14億1,100万円と、本ファンドシリーズの元本総額は上回るものの元利金総額は下回る水準となっております。なお、米ドル建ておよび円建てのファンドシリーズもロシアルーブル建てに変換され、資金引き出しまでの間ロシアルーブルの為替リスクを負うほか、経過利息も生じない一方的な条件となっております。加えて、ロシアの大統領令等によると、特別口座に入金された資金を引き出すには、引き出しの目的がロシア国内での税金支払いなど現時点では極めて限定的で、ロシア中央銀行の許可が必要な仕組みとなっております。

<今後の見通し>

エストニアグループ会社は、上記の一方的な条件を踏まえ、今回の返済手段を受け入れておらず、Kviku 社グループには当初の融資契約に基づく返済の履行を引き続き求めております。一方で、特別口

¹ 参考 JETRO “ロシア 為替管理制度” https://www.jetro.go.jp/world/russia_cis/ru/trade_04.html

座までは入金がなされた可能性があることも踏まえ、同口座からの資金引き出しを選択肢の一つとして、手続きの窓口となるロシア中央銀行の傘下機関との連絡を始めております。しかしながら、現時点では傘下機関から具体的な回答は得ておらず、本ファンドシリーズの返済時期は見通しが立っていない状況でございます。

1. 出資対象事業の概況

ご投資いただいた出資金の用途

- (i) 本ファンドにおいてクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下「本営業者」といいます。）は、お客様にご投資いただいた出資金をクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社（Crowdcredit Estonia OÜ。以下「エストニアグループ会社」といいます。）に対して貸付けました。
- (ii) エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、金融事業者である Kviku 社グループのうちキプロス共和国に籍を置く Kviku Holdings Ltd.（以下「Kviku 社」といいます。）へ貸付けを行いました。
- (iii) Kviku 社への貸付けに対しては、Kviku 社グループの中核企業であり、ロシアに籍を置く LLMC AirLoans が債務保証を行っています。

2. 出資対象事業の動向

(1) これまでの経緯(2024年2月まで)

ロシア・ウクライナ間の戦争が長期化するなか、SWIFT からの排除をはじめとする各国のロシアに対する制裁措置や、ロシア政府およびロシア中央銀行による対抗策の一環としての送金規制の影響が続いており、ロシアからの海外送金は依然、広範に規制されています。Kviku 社グループについても、返済原資はあるにもかかわらずエストニアグループ会社への送金ができない状況が続いておりました。

また、金融制裁により外貨調達が難しくなったロシア企業のデフォルト回避のため、非友好国への外貨建て債務をロシアルーブル建てで返済する法律が発効されるなどの対抗策が見られています

（2022年3月5日付大統領令第95号「特定の外国債権者に対する債務返済義務の一時的手続きについて²」）。

このような状況下、2023年1月に Kviku 社グループより、エストニアグループ会社を引受人とする2024年2月満期の私募債790百万ロシアルーブルを発行し、その償還金を Kviku 社グループがロシア国内に開設した特別口座へ入金することで返済を履行するとの一方的な連絡がございました。私募債の発行による返済はロシアの大統領令等に基づく通達に則ったもので、特別口座に入金された資金を引き出すにはロシア中央銀行の許可が必要な仕組みです。Kviku 社グループはロシア中央銀行にデフォルト回避手段を相談したところ、債権者を所有者とするロシアルーブル建て私募債をロシア国内で発行し、満期日にロシア国内で償還金を支払うことが適切との助言を受け、それに従ったものというスタンスです。エストニアグループ会社は上記債務履行の手段を受け入れておらず、Kviku 社グループには当初の融資契約に基づく返済の履行を引き続き求めております。

² 参考 <https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/03/9291311bb98a5ff2.html>

(2) 特別口座への入金(2024年2月)

Kviku 社グループからは、上記通知の通り、2024年2月に特別口座に882百万132千ロシアルーブルを入金したとの連絡がございました。これを受けエストニアグループ会社は、ロシア中央銀行の傘下機関にこの入金の実事関係を確認中です。なお、要因は不明ながら、当初通知されていた790百万ロシアルーブルよりも1割強多くなっております。

この入金連絡について、エストニアグループ会社は以下の一方的な条件および懸念点を認識しております。

- 入金額は Kviku 社グループが一方的に算出しており、ロシアルーブル/円=1.60 円で換算した場合に約 14 億 1,100 万円と、本ファンドシリーズの元本総額は上回るものの元利金総額は下回る水準となっていること
- 特別口座への入金はロシアルーブル建てでなされ、資金引き出しまでの間ロシアルーブルの為替リスクを負うこと
- 資金引き出しまでの間に経過利息が生じないこと
- 資金引き出しの目的がロシア国内での税金支払いなど現時点では極めて限定的で、同口座から実際に出金できるか不透明であること

エストニアグループ会社は、上記の一方的な条件および懸念点を踏まえ、今回の返済手段を受け入れておらず、Kviku 社グループには当初の融資契約に基づく返済の履行を引き続き求めております。一方で、特別口座までは入金となされた可能性がある事実も踏まえ、同口座からの資金引き出しも優先的な選択肢として検討しております。

(3) 特別口座からの資金引き出し

エストニアグループ会社は、特別口座からの資金引き出しに向け、口座が開設されているロシア中央銀行の傘下機関に入金の事実の有無や出金方法に関する問い合わせを始めております。しかしながら、現時点では入金の実事に対する回答および資金引き出しに対する明確な承認は得られていない状況です。特別口座からの出金が可能になる時期は不透明で、したがって本ファンドシリーズの返済時期も具体的な見通しが立っておりません。

3. 今後の返済見通し

上述の通り、本ファンドシリーズの返済時期は不透明な状況でございます。

今後につきまして、本営業者は3か月に一回程度を目安に本ファンドシリーズの最新状況をご報告申し上げる予定です。ただし、本営業者の判断で、3か月を待たずに速やかに報告する場合がございます。投資家のみなさまにおかれましては、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号